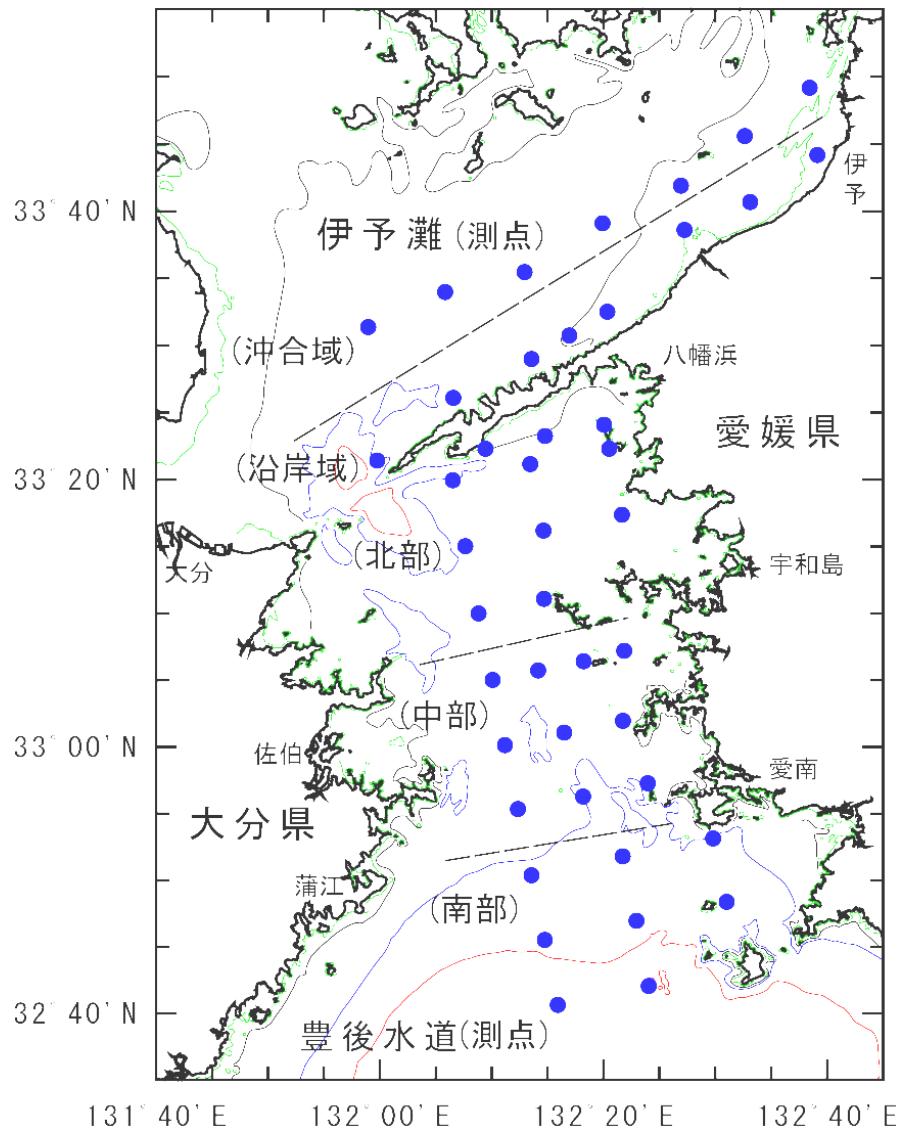


豊後水道東側（宇和海）の海況と小型浮魚類
(イワシ類・マアジ・サバ類) の出現状況について
2025年7月～12月の経過と2026年1月～6月の予測



2026年1月13日

愛媛県農林水産研究所 水産研究センター
環境資源室

○概要

令和7年12月23日、24日に国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所が、太平洋側21都道府県の関係試験研究機関による資源調査結果等を踏まえて太平洋側の漁海況経過の総括と予測を行うため長期漁海況予報会議を行いました。そこで、2025年7月～12月について太平洋側の海況と浮魚5種（マイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類）の漁況経過を取りまとめ、2026年1月～6月の漁海況の予測を行いました。

本稿では豊後水道東側における漁海況の経過と予測についての概要を紹介します。詳細については、水産研究・教育機構のHPをご参照ください。

[\(2025\(R07\). 12.26 2025年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報 | 国立研究開発法人 水産研究・教育機構\)](#)

○海況 ※平年：平成3年（1991年）～令和2年（2020年）の30年間の平均

【2025年3～7月の海況経過】

◇水温

北部：7月は0m、50～75m層で「高め」、10～20m層で「かなり高め」。8月は0～20m層で「平年並み」、50m層で「やや低め」、75m層で「かなり低め」。9月は0～10m層で「平年並み」、20～75m層で「やや低め」。10月は0、20m層で「やや高め」、10m層で「高め」、50m層で「平年並み」、75m層で「やや低め」。12月は全層で「やや高め」（図2参照）。

中部：7月は0m層で「高め」、10m層で「やや高め」、20～75m層で「平年並み」。8月は0～20m層で「平年並み」、50～75m層で「やや低め」。9月は0m層で「高め」、10～20m層で「やや高め」、50～75m層で「平年並み」。10月は0～20m層で「やや高め」、50m層で「平年並み」、75m層で「低め」。12月は全層で「平年並み」（図2参照）。

南部：7月は0～10m層で「平年並み」、20～100m層で「やや低め」。8月は0m、75m層で「平年並み」、10～50m、100m層で「やや低め」。9月は0m層で「かなり高め」、10m層で「高め」、20m層で「平年並み」、50～100m層で「やや低め」。10月は0～20m層で「やや高め」、50～75m層で「低め」、100m層で「やや低め」。12月は0～10m層で「やや高め」、20～75m層で「平年並み」、100m層で「やや低め」（図2参照）。

【水温 (10m層・°C)】

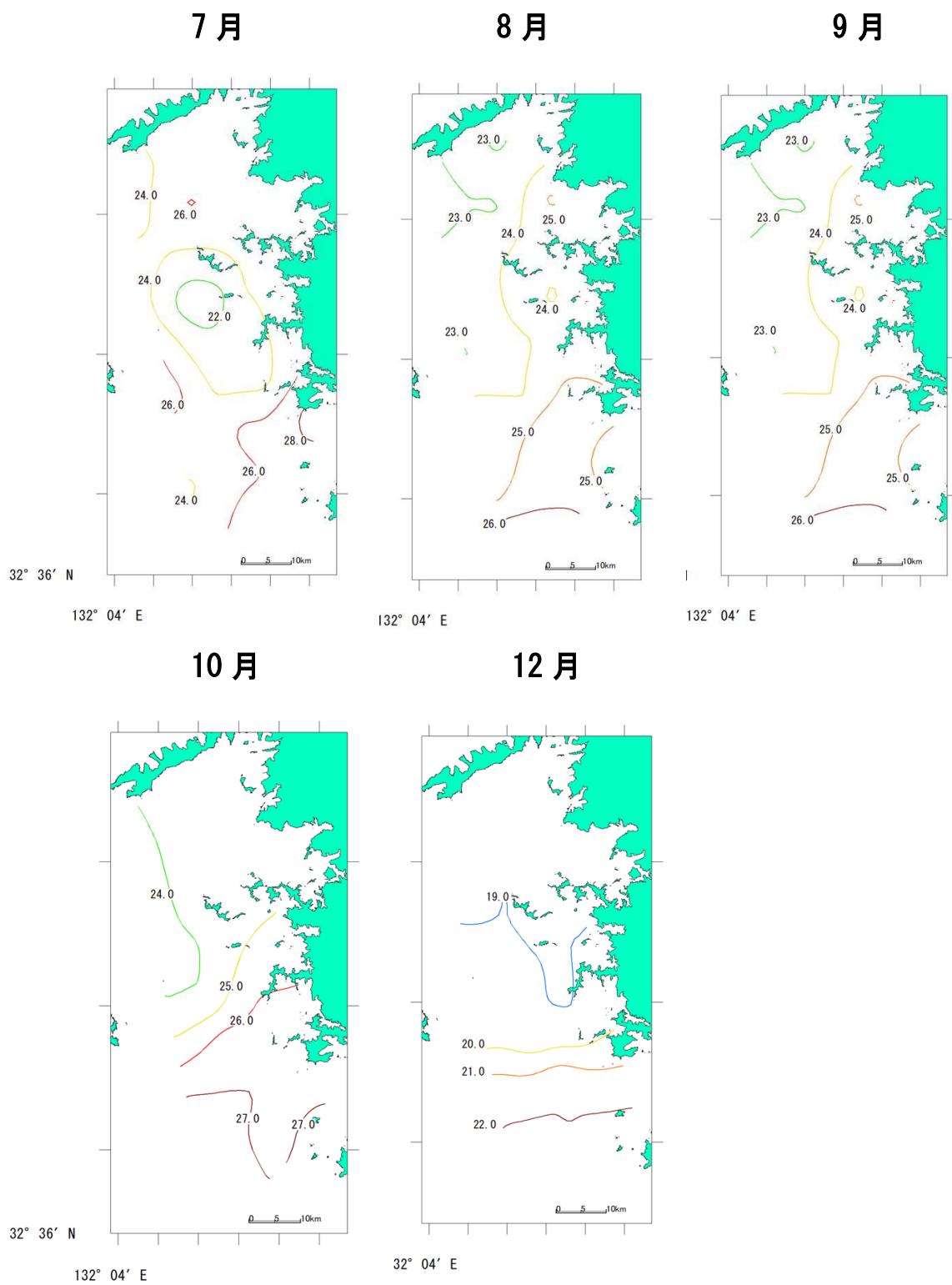


図1 豊後水道東側における月別の海況図

	水深	3月	4月	5月	6月	7月
豊後水道 北部 (愛媛)	観測日	7日	22日	20日	24日	15日
	0m	- +	+ -	+	+ ++	+ +
	10m	- +	+ -	+ -	+ ++	+ ++
	20m	- +	+ -	- +	+ ++	+ ++
	50m	- +	+ -	- +	+ +	+ +
	75m	- +	- +	- +	+ -	+ +
豊後水道 中部 (愛媛)	観測日	10日	21日	16日	26日	8日
	0m	+ -	- +	+	+ +	+ +
	10m	+ -	- +	+	+ +	+
	20m	+ -	- +	+	+ +	+ -
	50m	+ -	+ -	+ -	+	+ -
	75m	- +	+ -	- +	+	+ -
豊後水道 南部 (愛媛)	観測日	21日	20日	19日	23日	4日
	0m	+ -	-	- +	+ +	+ ++
	10m	- +	- +	- +	+ ++	+ ++
	20m	+ -	- +	-	+ -	+
	50m	+ -	- +	-	+ -	+
	75m	- +	+ -	-	+ -	+ -
100m	+ -	-	-	+	+ -	

評価基準
+++(---) : 年よりかなり高め(低め)
++(--) : 年より高め(低め)
+(-) : 年よりやや高め(低め)
-(-+) : 年並み(プラス、マイナス基調)
※年値統計期間: 平成2年(1990)~令和3年(2021)

図2 豊後水道東側における月別の水温平年偏差

◇黒潮

- ✓都井岬沖 : 7月上旬～8月上旬にかけて「著しく離岸」、8月中旬～9月下旬にかけて「かなり離岸」、10月上旬～12月下旬にかけて「やや離岸」で推移した。
- ✓足摺岬沖 : 7月上旬は「やや離岸」～「かなり離岸」、7月中旬～8月中旬にかけて「著しく離岸」、8月下旬～10月上旬にかけて「やや離岸」～「かなり離岸」、10月中旬～12月上旬にかけて「接岸」、12月中旬～12月下旬にかけて「やや離岸」で推移した。

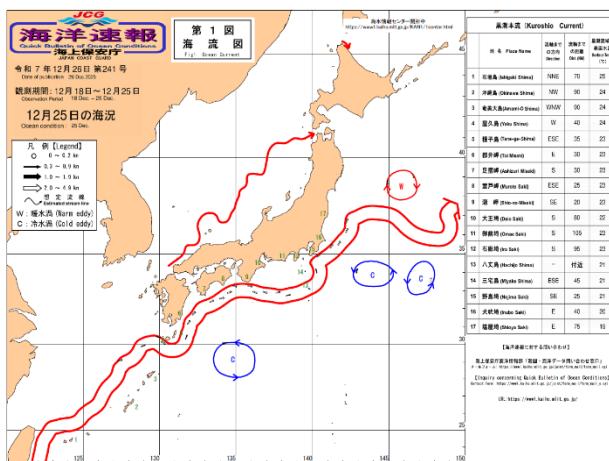


図3 2025年12月25日の海況図（海上保安庁 海洋情報部HPより引用）

【2025年8～12月の黒潮の見通し】

- ◇都井岬沖 : 接岸傾向で推移するものの、一時的に離岸傾向となることがある。
- ◇足摺岬沖 : 接岸傾向で推移するものの、一時的に離岸傾向となることがある。

○漁況 ※近年：過去 5 年間の平均 平年：過去 20 年間の平均

マイワシ

【2025 年 7~11 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7 月 985 トン、8 月 1,045 トン、9 月 535 トンで計 2,565 トン（対前年比 668%、対近年比 343%、対平年比 553%）で、前年同期、近年同期及び平年同期の水揚量を大きく上回った。（図 4、5 参照）。

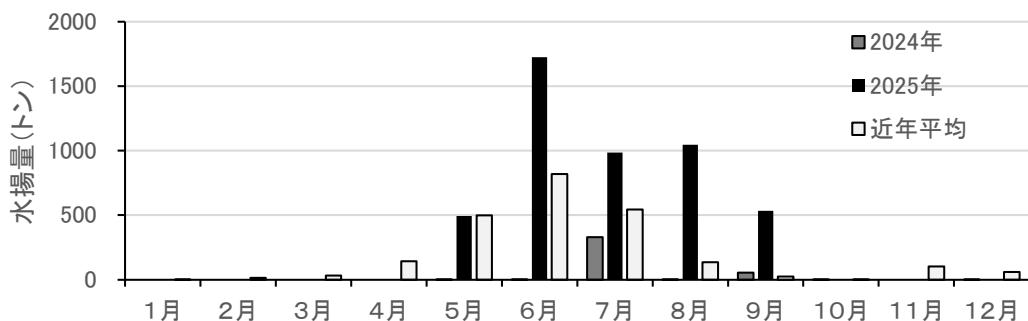


図 4 豊後水道東側における月別マイワシ水揚量

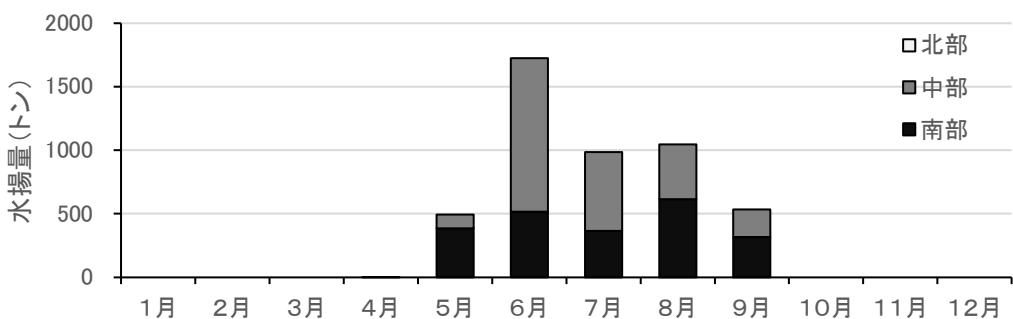


図 5 豊後水道東側における海域別のマイワシ水揚げ量

【2026 年 1~6 月の漁況予測】

2025 年下半期の水揚げ量は前年、近年及び平年値を上回っているものの、近年の漁獲傾向から、当歳魚主体の当該海域における来遊水準は前年並～下回ると予測される。

カタクチイワシ

【2025 年 7~11 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7 月 107 トン、8 月 60 トン、9 月 399 トン、10 月 346 トン、11 月 105 トンで、計 717 トン（対前年比 27%、対近年比 19%、対平年比 23%）となった。（図 6、7 参照）。

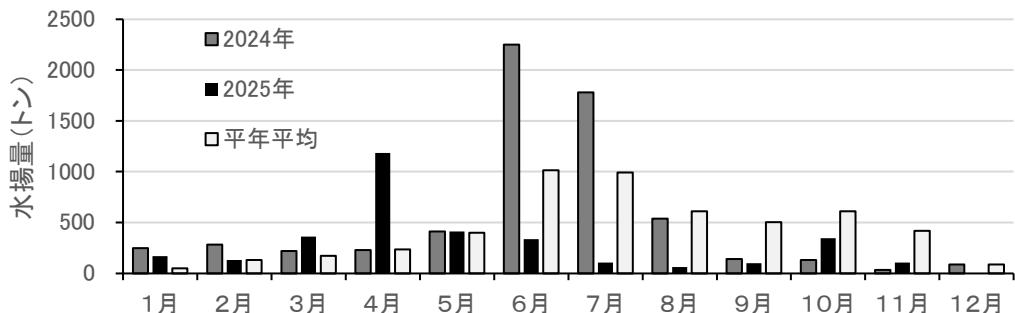


図6 豊後水道東側における月別カタクチイワシ水揚量

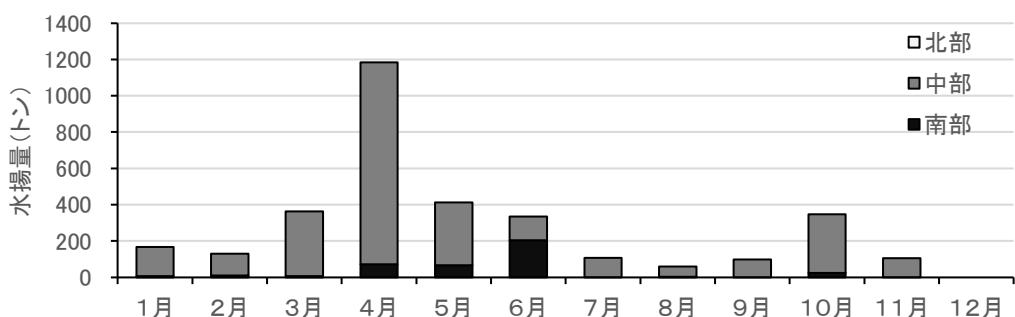


図7 豊後水道東側における海域別のカタクチイワシ水揚げ量

【2026年1~6月の漁況予測】

5月頃から漁獲対象となるカタクチシラスの漁獲量が前年を大きく下回ったことから、前年を下回ると予想される。

ウルメイワシ

【2025年7~11月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7月287トン、8月391トン、9月789トン、10月751トン、11月76トンで、計2,294トン（対前年比139%、対近年比80%、対平年比78%）となった（図8、9参照）。

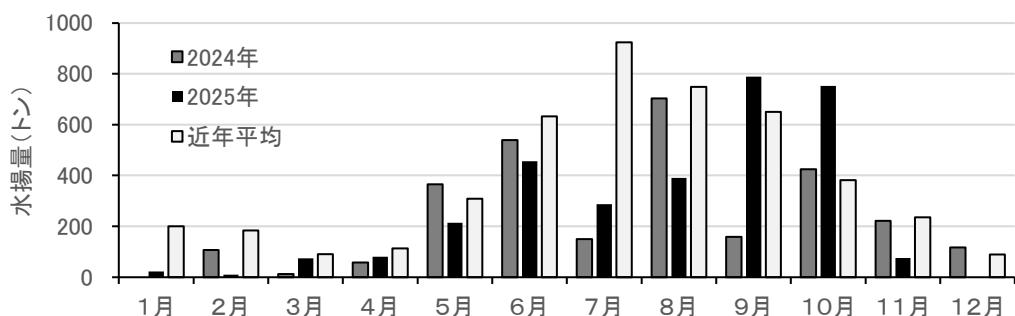


図8 豊後水道東側における月別ウルメイワシ水揚量

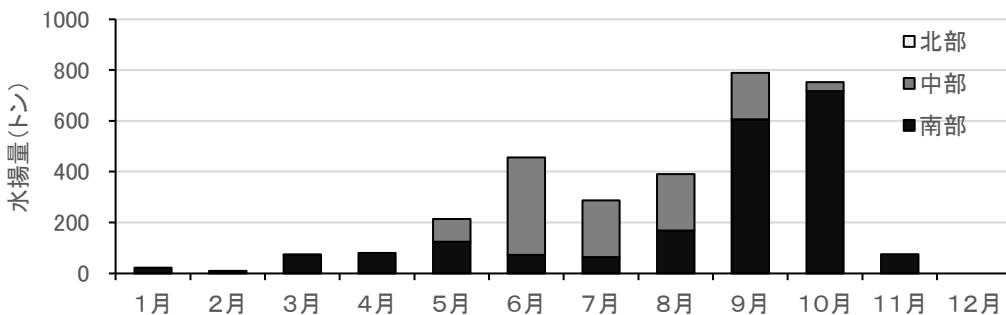


図 9 豊後水道東側における海域別ウルメイワシ水揚量

【2026年1~6月の漁況予測】

加入時期にあたる4~6月から当歳魚が水揚げの主体となる。近年は、近隣海域における推定産卵量や資源量指標に大きな変化がないことなどから、来遊水準は前年並と予測される。

マアジ

【2025年7~11月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7月35トン、8月114トン、9月292トン、10月180トン、11月67トンで、計688トン（対前年比63%、対近年比153%、対平年比54%）となった（図11、12参照）。

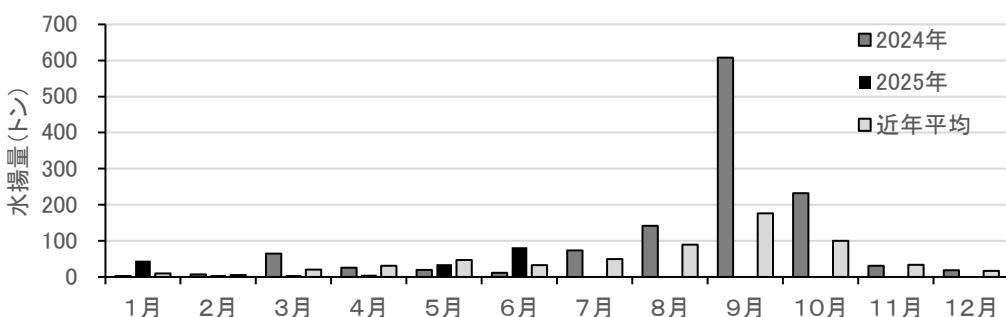


図 11 豊後水道東側における月別マアジ水揚量

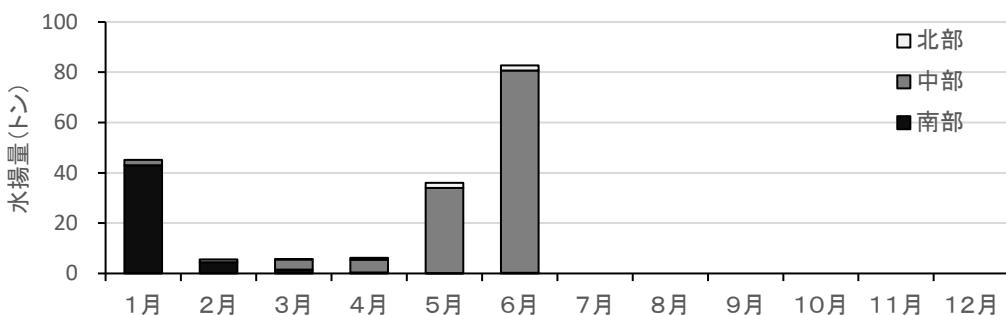


図 12 豊後水道東側における海域別マアジ水揚量

【2026年1~6月の漁況予測】

2025年7~11月の水揚量が各海域ともに豊漁年であった前年を大きく下回ったものの、近年比では100%を超えており、また、当該海域には東シナ海由来の0歳魚が一部来遊するとされており、東シナ海の親魚量は横ばい傾向にあることなどから、0歳魚の来遊水準は前年並と予想される。

サバ類

【2025年7~11月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7月45トン、8月56トン、9月101トン、10月40トン、11月22トンで、計264トン（対前年比185%、対近年比40%、対平年比21%）となった。（図14、15参照）。

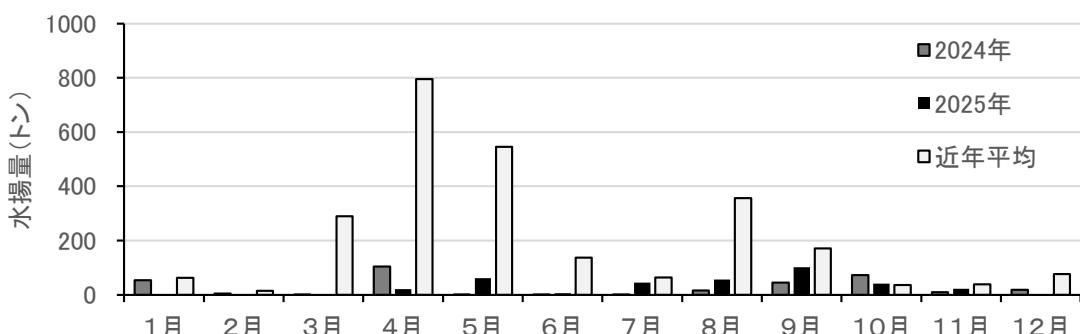


図14 豊後水道東側における月別サバ類水揚量

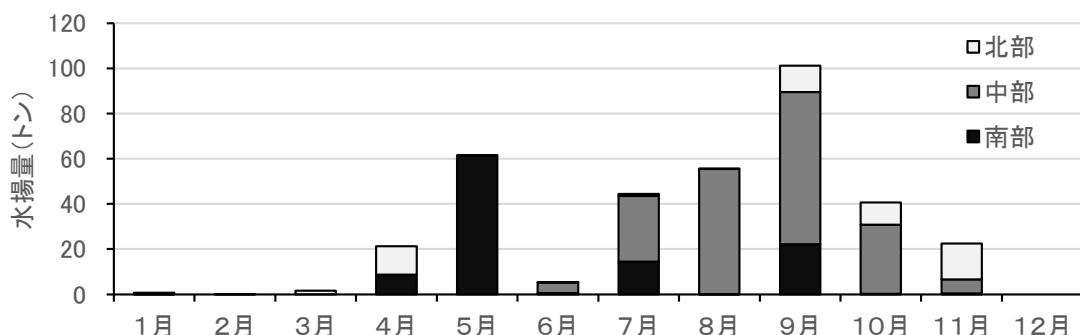


図15 豊後水道東側における海域別サバ類水揚量

【2026年1~6月の漁況予測】

2025年7~11月の水揚量は前年同期を上回ったものの、通年では前年と同程度であることから、来遊水準は前年並～上回ると予測される。